

ベトナム人EPA看護師候補者における 国家試験対策に関する研究

袁田 さゆり¹⁾ 樋口聰美²⁾ 北川千恵子²⁾
比留間洋一³⁾ 青野淳子²⁾

鈴鹿医療科学大学看護学部¹⁾
NPO法人外国人看護師・介護福祉士教育支援組織(SNC)²⁾
静岡県立大学大学院国際関係学研究所³⁾

はじめに

EPA看護師候補者では国家試験合格率が低迷している。その主な理由は日本語の習得が十分でないこととされている。2014年に開始したベトナム人看護師候補者に対しては日本語能力試験でN3レベル以上の条件を付与した。

目的

ベトナム人看護師候補者に対しては日本語能力試験N3レベル以上の条件が看護師国家試験合格への必要十分条件となるかを検証し、国家試験合格率を上げるための具体的な対策を見出すことを目的とする。

倫理的配慮

SNC倫理委員会の承認を得た上で実施した。

方法

第1陣ベトナム人看護師候補者11名に面談しうち7名の第104回国家試験の成績について7名が正解できなかったすべての問題を抽出した。とくに7名中4名(57.1%)以上が正解できなかった95問のうち日本人受験の70%以上が正解した49問に着目した。それを出題領域別に分類し不正解の理由について面談を含む調査を実施した。日本人正解率は医学評論社及び東京アカデミーの資料より算出した。

表5 わからなかった日本語

出題領域	わからない日本語
必修	干渉、振動、介護保険法、訪問看護、照度
基礎看護学	肺血流量
母性看護学	葉酸、会陰切開縫合部、復古不全
在宅看護論	「機器が過剰送気を示したときは回路の点検をする」、ショートステイ、リクライニング式、フッシュアップ
人体の構造と機能	筋層
成人看護学	イレウス、縫合不全
老年看護学	不明(具体的な指摘なし)
精神看護学	遅発性ジスキネジア
看護の統合と実践	救療物質
小児看護学	レスパイトケアの充実、ドクターカーの充実
社会保障	ヒ素、オゾンホール、光化学オキシダント

対象者7名のうち4名(57.1%)が正解できなかったが、日本人受験者では70%以上が正解した49問において「わからなかった日本語」と報告されたものを出題領域別に記載した。

結果

ベトナム人正答率が日本人に比し低率であった49問(必修8、一般28、状況設定13)のうち必修問題を除く41問は出題総数に占める割合でみると一般21.5%、状況設定22.0%であった。また領域別では「在宅看護論」38.1%で最も高く38.1%、次いで「人体の構造と機能」・「健康支援・社会保障」が各33.3%であった。「疾病の成り立ちと回復の促進」は0%であった。ベトナム人が正解できなかった理由では①「病院や大学で学ばなかった」45.1%、②「学んだが忘れた」36.3%、③「日本語がわからなかった」4.4%であった。

考察

ベトナム人候補者の日本語能力は「話す」と「聞く」について来日1年半を過ぎても不足を感じた。入職6か月後に受験した第104回国家試験7人の成績よりベトナム人候補者の「読解」力は国家試験勉強を開始するのに十分であったと推定された。ベトナムの看護教育では日本の社会保障などに加えて在宅・精神・老年・災害看護学について十分にカバーされていないとされるが本報の結果はこれらの領域のみならず日本の看護師国家試験出題基準のすべての領域についてカバーしていない部分があり補完が必須であることを示唆している。

表1 看護師国家試験の合格率 全体とEPA全体の比較

看護師国家試験 実施年(実施回数)	全体	EPA全体
2009年(第96回)	89.9%	0.0%
2010年(第96回)	89.5%	1.2%
2011年(第100回)	91.8%	4.0%
2012年(第101回)	90.1%	11.3%
2013年(第102回)	88.8%	9.6%
2014年(第103回)	89.6%	10.6%
2015年(第104回)	90.0%	7.3%

厚生労働省より引用
<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdou-10805000-Iseikyoku-kangoka/000079084.pdf>

表2 対象者7名の成績(正解率%)

候補者	必修*	一般+状況設定**	一般*(%)	状況設定*
A	68.0	143 (57.7%)	51.5	64.4
B	82.0	122 (49.2%)	50.8	47.5
C	74.0	129 (52.0%)	51.5	52.5
D	74.0	155 (62.5%)	59.2	66.1
E	82.0	153 (61.7%)	56.2	67.8
F	68.0	110 (44.4%)	40.0	49.2
G	64.0	120 (48.4%)	41.5	55.9
平均	73.1	133 (53.7%)	50.1	57.6

* 必修問題(50問)、一般問題(130問)、状況設定問題(59問)の正解率(%)
** 一般問題は1問1点、状況設定問題は1問を2点として計算したときの成績、
()内は満点248に対する割合

表3 対象者7名のうち57.1%以上が正解できなかった問題(必修問題)

出題領域(大項目)	問題番号	内容	ベトナム人 正解率(%)	日本人正解率(%)	東ア力	テコム
人間の成長と発達	A006	思春期の特徴	42.9	99.6	98.7	
主な看護活動展開の場と看護の機能	A009	機能別看護方式の説明	28.6	98	96.6	
主な看護活動展開の場と看護の機能	B009	訪問介護	28.6	88.4	92.2	
病態と看護	A012	緊急性の高い不整脈	42.9	95.0	95.5	
病態と看護	A014	呼吸困難	28.6	95.0	95.5	
病態と看護	B014	チアノーゼ	42.9	97.3	96.0	
健康と生活	A025	振動、職業病	0	97.5	97.8	
患者の安全・安楽を守る技術	B021	環境整備(照度)	42.9	99.2	95.3	
平均			32.2	96.3	96.0	

表4 対象者7名のうち57.1%が正解できなかった問題の出題領域と割合(一般問題及び状況設定問題)

出題領域*(問題数)	出題率(出題数に占める割合)		出題率(得点に占める割合)***
	一般 %	状況 %	一般+状況
基礎看護学 (21)	23.8 (5/21)	—	23.8 (5/21)
母性看護学 (18)	33.3 (3/9)	22.2 (2/9)	25.9 (7/27)
在宅看護論 (15)	22.2 (2/9)	50.0 (3/6)	38.1 (8/21)
人体の構造と機能 (12)	33.3 (4/12)	—	33.3 (4/12)
成人看護学 (31)	10.5 (2/19)	16.7 (2/12)	13.9 (6/43)
老年看護学 (20)**	16.7 (2/12)	25.0 (2/8)**	21.4 (6/28)
精神看護学 (18)	33.3 (3/9)	11.1 (1/9)	18.5 (5/27)
看護の統合と実践 (14)	37.5 (3/8)	16.7 (1/6)	25.0 (5/20)
小児看護学 (19)	10.0 (1/10)	22.2 (2/9)	17.9 (5/28)
健康支援・社会保障 (9)	33.3 (3/9)	—	33.3 (3/9)
疾病の成り立ちと回復の促進 (12)	0.0 (0/12)	—	0.0 (0/12)
計(一般130+状況59 = 189)	21.5 (28/130)	22.0 (13/59)	21.8 (54/248)

*出題領域の問題数はラ・スバ過去問対策2016(医学評論社)による
**解なしを除いた問題数
***一般問題の1問を1点、状況設定問題の1問を2点として計算した